

2014(平成26)年6月12日

館外講座だより20



2001(平成13)年8月に始まったバスツアーは、通算34回目を数えました。吾妻川は、草津白根山から強酸性の支流が流れ込むため、魚が住めない死の川でした。品木ダムは、中和に伴う生成物をためるダムです。1783(天明6)年の浅間山噴火で吾妻川に入った火山泥流は、利根川・江戸川を下り東京低地にも影響を及ぼしました。吾妻渓谷に建設が進むハツ場ダムは、訪れる度に刻々と周辺の景観を変貌させています。折りしも6月3日18時、草津白根山は噴火警戒レベルが2に上げられました。火山と河川、ダム建設と東京低地のかかわりを、再認識する契機になれば幸いです。

◆品木ダム水質管理所・中和工場

みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数)です。



中央管理室

3基ある石灰を投入するタンク



湯川へ石灰ミルクシャワー

- 今回初めて吾妻川に石灰水を放出させる事業を知りました。酸性の水にアルカリ性を入れることで中和させるという事にびっくりしました(初参加、ほか多数)
- 白根山から流れた湯川、谷沢川がこんなにも酸性が強いとは知らなかった。そしてそれを中和する工場があるなんてこと、もっと知りませんでした。いい勉強をさせてもらいました。それももう50年もたっているとは……。人間の知恵もすばらしい(5回目)
- 日本一の温泉地、成分の強い分、そのかけ流されたお湯はどうなるのだろうかという疑問が今日解決されました。石灰で中和される。その為の努力、緑の中に白く流れていく水、やがて澄んだ水となって海に帰る、感動しました(?回目)
- 草津白根山の硫黄分を吾妻川に注ぐ前に品木ダム以前で石灰で中和し、PH2.2~2.8をPH5.5位に下げていることを初めて知りました。酸性にするため年間2億円ものお金がかかっていることに2度びっくりしました(5回目)
- 石灰ミルクの投入前後の様子を目の当たりにし、川をきれいにするための永遠に続く作業の大変さを思った(18回目)
- 365日一時も休み無く石灰を添加しつづける、それも石灰量を調整しながらの作業には頭が下がります。比較的ゆるやかな化学反応で中和しているのを好ましく思えました。吾妻川流域の人達の生活維持には不可欠な湯川の白濁でした(12回目)
- 24時間休みなく管理、ごくろうさます(2回目、ほか多数)

- 酸性の川を石灰で中和する工程を目にし、システムによる管理を少人数で能率よく行われている様子を見る事が出来大変良かったです(17回目)
- 国がこんなに有意義な事業を行っているなんて!、と改めて感心しました。もっと宣伝すればいいのにね!!(数回目、ほか多数)
- 草津は何度も観光で訪れているが、水質改善の現場を見たのは初めて。このツアーならではの、参加した意義があった。私が若い頃、草津温泉はコンクリート鉄筋づくりのホテルは建造できなかった。それが今回よく理解でき、よかった(3回目)

湯川へ降りる



◆湯畑

湯川のお水のコーヒ一飲めば 骨もとろける恋（鯉）となる 都々逸



雨上がり イオウのにおい 湯もみかな

- 「奥の細道」巻頭にあり。「耳にふれ、いまだに目に見ぬさかい」初めて現場を目にした（3 回目）
- 廻りの石垣にベルツ、秀吉等の名があり、湯畑というのははじめて見ました（4 回目）
- 映像ではよく見たけど、初めてここへきて“温泉臭”の強さと情緒に圧倒、ここは泊りがけでまた来よう（14 回目）
- いい香りと温泉効力・・・、でも負の何かがあるのか（6 回目）
- なつかしい湯の香り。おいしいうどんを舌つづみ。時間がもう少し欲しい、わがままおばさん（5 回目）

○ランチおいしかった。資料館には時間がなく入れなかった、残念。草津は初めて、上野から 3800 円位、電車＋バス、来られそうな距離かな（3 回目）

○熱めの足湯が気持ちよかった（4 回目、ほか足湯体験多数）

◆品木ダム



田村伸之さん



品木ダム
白き湯川や
緑濃し

- 説明が本当に良かった（10 回目、ほか多数）
- 利水を目的としないダムは考えたこともなかった。でもこのダムを見て、こういうダムもあって良いのだと考えた（3 回目）
- ダムの役割がわからなければ、通過してしまうようなところだが、詳しい説明があり、水の色の変化が確認できたので、印象にのこった（3 回目）
- 奥深い山中で黙々と仕事をしているという感じでした（7 回目）
- 乳白濁色の水が、流れていくに従って、きれいな水になっていくのが良くわかりました（2 回目）
- 外観は木々にかこまれ美しい。たえまなく管理されているとか、大変でしょうがおかげで守られる人々もいます（5 回目）
- 湖底には土砂の他、このダムならではの物が生成物が 80% 近くたまっているとの事。浚渫費用はどの位かかるのだろうか？（18 回目）
- 浚渫船が活躍していた。ダム底にたまったものを水切りして処分とのこと、ごくろうさま（14 回目）



雨あがり
中和されたる
白水の 新緑写し
みどりに変れり

- 小さい体で硫化化合物の沈殿をさせ、pH5~6 になった水を使い、発電と無駄なく活用している事に人々の知恵を感じました（12 回目）
- 温泉を楽しんでいるかたわらで、大変な苦勞をしていることを知り、環境への配慮の大切さを感じました（21 回目）
- 酸性を中和した水をためておき、その水や残土の処理をするのは永遠にやらなければならないのは大変ですね。いずれ、何かよい残土処理を平和的に利用できると良いと思う（5 回目）
- 草津の温泉に来た人、みんなに見せたい中和工場・品木ダムです（8 回目）

湯川が品木ダムに入る堰堤

◆道の駅 ハツ場ふるさと館

●足湯を作ったり、滝見物が出来たり、もちろん吾妻川の今昔を紹介したり、設備が整っていた。本体ダムが竣工して、そっちに観光客が移るのでは…どうか？（8回目）

○パネルをみました。長い経過を経て、現在の形があるのでしょうか、「ごく単純」に山里の暮らしを奪われた人々の哀しみを思います。都市の人々の快適生活のために苦しむ人がいるのですね（8回目）

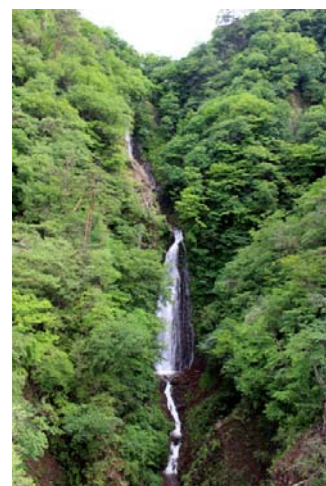
○ダム地の変更→吾妻川水質の強酸性→計画の一時停止→中和工場と別のダムの完成→計画再浮上→そして今……。長〜い歴史を学んだ。洪水・渇水から首都を守るため、自分の暮らしを犠牲にしてダム事業に協力した人たちの重い思いを忘れてはならない（19回目）

●不動の滝、今回一番の絶景でした（4回目、ほか多数）

●ハツ場ダムの全容が理解できた。対岸まで新しい橋を渡りながら下を観察できた。吾妻線の列車がたまたま通過していった。ジオラマを見ているようだったが、いずれここも湖底に沈むのかと思うと感慨深い（3回目）

●ハツ場ダムの付替道路の高さ派手さに驚きでした。あれでは金喰いダムの感あり（初参加）

○ダムに沈むかつての町と川をしっかりと目に焼きつけました（21回目）



不動の滝

◆その他・自由欄

TOUR DATA		
時間	経過	時間
7:28	博物館出発	
7:42	千住新橋IC	
7:55	川口JCT	
8:13	大泉JCT	
8:39	高坂SA	11分
9:35	渋川伊香保IC	
9:57	道の駅 おのこ	15分
13:50	品木ダム水質管理所	55分
12:30	湯畑駐車場	64分
13:50	品木ダム	25分
14:48	道の駅ハツ場ふるさと館	32分
16:27	渋川伊香保IC	
16:40	高崎JCT	
16:50	波志江SA	10分
17:50	岩舟JCT	
18:22	千住新橋IC	
18:40	博物館着	
内山観光バス:フェニックス号		
ドライバー:安田 充さん		
走行距離:452 km (倍率1.6倍)		
応募72名、キャンセル1名、当日参加47名		
参加費3400円/見学実費0円		



増水の吾妻川と国道145号からのぞむ上流の不動大橋

●行程450km/バスの旅。雨と川の流がマッチして、河川地形学の勉強になりました。草津よいとこ何度でもいきたい。今後は泊りでどうにかありませんか（5回目）

○郷原、香草、岩櫃、六合、ハツ場などすてきな地名が多いですね。守ってほしいです（8回目）

○夜はおやきを食べながら、いろいろと家族に話しましょう（3回目）

○川の活用という意味で、とても有意義な旅でした。ありがとうございました

（12回目）

○説明会での川の勾配についてのお話とグラフはとても分かりました。富澤氏のベルツ博士は明治政府の力の入れようもさることながら、後々有名になった人達より数倍の高額俸給だったことに驚きました

（21回目）

●今回は関東横断（北関東）道路を初めて通行してきました。景色も（外壁がなく）良くすばらしい道路です。又使ってください。秋は日光大谷川や堤防（砂防ダム）に連れていってください。（5回目）

ツアー後記

雨雲と共に北上でしたが、草津では日が差し、山々の緑が映えました。増水した吾妻川の荒々しい姿も見ることができました。何分にも日帰りのツアーがゆえ、時間に余裕がない大人の社会科見学だったことをお詫びします。天空の不動大橋からの大パノラマ、人間の叡知と自然との相克を感じました。ご案内をいただきました国土交通省品木ダム水質管理所 田村伸之さんに厚く御礼申し上げます。

担当学芸員 橋本直子

博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>